

名古屋能楽堂

能楽普及公演

九月定例公演

能・狂言が映す“時代” — 改元に寄せて —

語り継がれる栄枯盛衰の物語

能<熊野>の舞台は、平家の絶頂期、華やかな花見の場面。そこで主人公・熊野が流す
悲しみの涙は、“光”の中の“影”だろう。一方<経政>の楽器をめぐる心の交流は、
平家の都落ちという“影”の中でのささやかな“光”を思わせる。
あらゆる物事には“光”と“影”がある。その主題のもとに編まれた
『平家物語』に基づく能の名作を、サイコロの
目をめぐる“勝”“負”を描いた狂言<博奕十王>とともに。

能
熊野ゆや

能
経政つねまさ

撮影:杉浦賢次

7月5日(金)より
前売券発売

令和元年

9月22日(日)

13:30開演 (13:00開場)

指定席4,100円

自由席(一般)3,100円

自由席(学生)2,100円

※当日券は自由席のみ500円増となります。

▶ご来場の方に抽選で素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から抽選で10名様に能楽グッズをプレゼントします。
※ご入場の際にお配りするパンフレットに応募券にご応募の締切は休憩終了までが入っておりますのでご確認ください。

撮影:工房円

●イヤホンガイド 演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸しします。(日本語/英語)
Noh performance Guide/Rent-free for a wireless headset(Japanese/English)

能 狂言 能 舞囃子

「熊野」(観世流) シテ 久田三津子
「博奕十王」(和泉流) シテ 井上松次郎
「経政」(宝生流) シテ 衣斐 正宜
「弓八幡」(金剛流) シテ 羽多野良子

名古屋能楽堂 九月定例公演

〈能楽普及公演〉



舞囃子 弓八幡(金剛流)

シテ 羽多野良子

笛 大野 誠

小鼓 後藤嘉津幸

大鼓 河村裕一郎

太鼓 加藤 洋輝

仕舞 藤戸(喜多流)

シテ 長田 驍

地謡 伊藤 英毅

長田 郷

仕舞 小鍛冶(金春流)

シテ 鬼頭 尚久

地謡 前田 登

小島 芳樹

能 経政(宝生流)

シテ 平経政の霊

ワキ 飯富 雅介

後見 衣斐 正宜

玉井 博祐

和久 狂太郎

水上 優

佐藤 耕司

休憩十五分

都合により出演者等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

狂言 博奕十王(和泉流)

シテ 博奕打 井上松次郎

アド 間魔王 野村又三郎

立頭 鬼 奥津健太郎

立衆 鬼 野口 隆行

立衆 鬼 藤波 徹

立衆 鬼 野村 泰

立衆 鬼 松田 信朗

立衆 鬼 野村 高義

立衆 鬼 野村 高義

能 熊野(観世流)

シテ 熊野 久田三津子

ツレ 朝顔 瀬戸 洋子

ワキ 平宗盛 橋本 宰

ワキツレ 従者 梶元 正樹

笛 鹿取 希世

小鼓 後藤嘉津幸

大鼓 河村眞之介

後見 今沢 美和

山田 義高

伊藤 裕貴 清沢 一政

吉沢 旭 山中 雅志

本田 勲 久田 勘鷗

(午後五時四十分頃終了予定)

【イヤホンガイド】

◆能「経政」

日本語／伊藤 利香

(名古屋能楽堂イヤホンガイド)

◆能「熊野」

日本語／藤江さおり(通訳ガイド)

英語／藤江さおり(通訳ガイド)

◆能解説「経政」(つねま)

仁和寺の守算法師親王に仕える大納言の僧都行慶(つねま)は、生前、法親王の寵愛を受けた平経政を管弦講(管弦の音楽で法要を行うこと)で用うことを語ります。経政の愛した琵琶「青山」を仏前に置いて弔いを行うと、経政の幽霊(シテ)が現れます。経政の幽霊は弔いに感謝し、手向けてある琵琶を弾き、琵琶の面白さを語り舞います。やがて、優雅な空気は一変し、修羅道での苦しみを見せたかと思うと、その身を語りながら姿を消します。

灯火の中、見え隠れしながら行慶と言葉を交わす場面、琵琶を奏で舞を舞うところ、修羅道の場面と、短いながらも変化に富む、修羅物の代表曲です。

平家物語では経政は清盛の弟・経盛の子で、敦盛は弟にあたりません。平家物語「経正都落」には、仁和寺の覚性法師親王から賜った青山を、平家都落ちの時に仁和寺へ返しに行ったとあります。その時に経政が詠んだ歌(筑竹の 算の水はかはれども なほすみあかぬ 宮のなか)は地謡の中に出てきます。また、仁和寺を後にした経政を桂川のほとりまで送って行った僧がこの曲のワキ、行慶だったのです。(衣斐 愛)

◆狂言解説「博奕十王」(ぼくちりあ)

近年は人間が賢くなったために地獄に落ちる罪人も少ない危機的状況の中、閻魔王一行は已む無く自ら六道の辻へ出て、死者を地獄へ引き連れようとして構えます。そこへ生前金品財産を散々に巻き上げてきた博奕打ちが通り掛かるので、一行は捕らえませんが…

《六道》とは、天界・人間界その他畜生・餓鬼・地獄・修羅各々の世界(道)を表し、《六道の辻》はまさにこの世とあの世の分岐点、冥界を隔てる境界線を指しています。京都東山には平安京当時の墓所でもあった鳥辺野界隈に「六道珍皇寺」が現存し、山門脇に石碑も残っています。冥途への入口として古くから知られていたようです。(井上松次郎)

◆能解説「熊野」(ゆや)

平宗盛は、遠江国池田宿の熊野という娘を都に留めていて、熊野の老母から朝顔と文の詰めた侍女が文をもつて訪れ、熊野は宗盛の前で文を読み上げ、そして暇を賜るよう願うのですが、宗盛は花見に付き合えずと牛車に乗せて春の賑わいの京の街をゆき、清水寺に着くとすぐに酒宴を始めます。熊野は命ぜられるままに舞を舞うと、途中俄かに村雨が降りだし花が散つてゆきます。熊野は歌をしたため、それを詠じた宗盛は、憐れを感じ取り、暇を与え、熊野は喜び東路に向かい旅立ちます。(一般財団法人 能 姫町財団)

九月定例公演事前学習講座

9月7日(土) 14:00~16:00

[受講チケット] 九月定例公演とのセット券500円、一般券1,000円 ほか

◆能「経政」「熊野」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

*事前学習講座のチケット(定例公演とのセット券を含む)は、名古屋市文化振興事業団の管理する文化施設窓口にて取り扱いをしております。

チケット料金(税込) *前売券発売日 令和元年7月5日(金)

Table with ticket prices: 前売 Advance sale, 指定 Reserved, 自由 Non reserved plus ¥500, on the day. Sub-categories: 一般 Adult, 学生 Student under 25 years old.

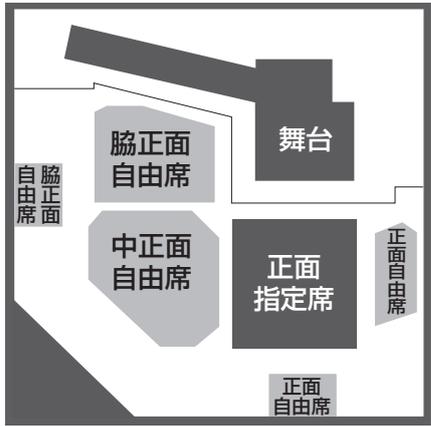
*当日券は自由席のみ500円増となります。*学生券は25歳以下を対象とします。

*事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は1割引(学生券をのぞく) (名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ、各割引の併用はできません。)

*上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外のご遠慮下さい。*未就学児のご入場はお断りいたします。

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂 TEL.052-231-0088
名古屋市文化振興事業団チケットガイド TEL.052-249-9387
名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。



ワクワク・ドキドキ特典がいっぱい 「友の会」会員募集中! 公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL.052-249-9385